

2-2. 現況分析と課題の整理

(1)人口・世帯

①人口の推移

■総人口

- 調査対象区域の総人口は、平成23年2月現在、17,088人（住民基本台帳ベース）となっている。

■地区別人口

- 平成14年から10年間の推移をみると、全市が14%増加、本庁地区が1.2%増加しているのに対し、調査対象区域では、4%減少している。
- 地区別の人口動向をみると、中心部北地区、JR駅西地区が8%以上の減少を見せている。
- 中心部地区の人口増加率は、0.3%の減少と10年前とほとんど変わっておらず、近年は増加傾向にある。

■町丁目別人口

- 町丁目別の人口動向をみると、馬場通り2、4丁目、宮町、池上町および宮園町などの商業中心地で30%以上の人口減少が見られる。
- 一方、JR駅周辺および中心部の外延部の旭1丁目や西1丁目、東宿郷1丁目などにおいては、駐車場等の低未利用地のマンションへの土地利用転換や建て替え等によって、人口が増加している。



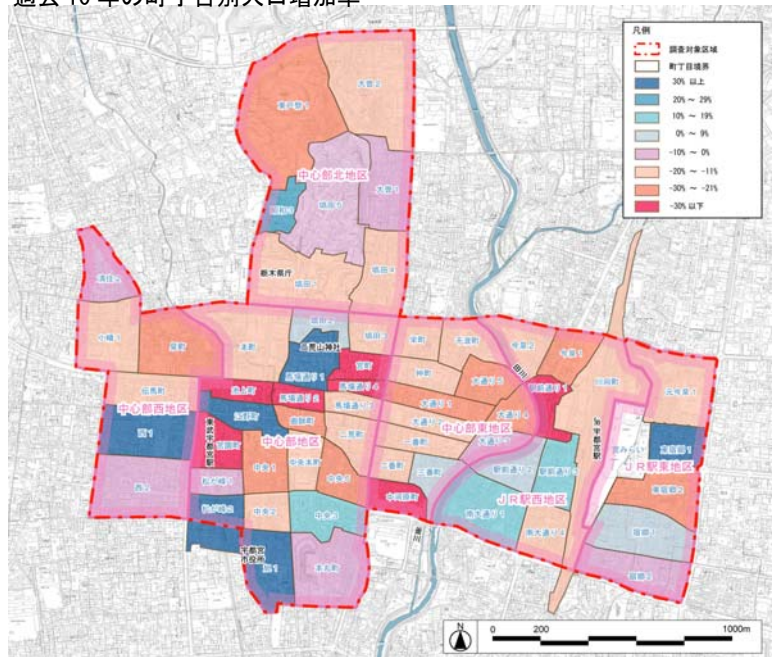
地区区分図

全市及び地区別人口の推移

		単位:人										
		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成14~23年の増加率
中心部西地区	実数	2,883	2,834	2,781	2,921	2,913	2,890	2,840	2,757	2,707	2,726	
	対前年増加率		-1.7%	-1.9%	5.0%	-0.3%	-0.8%	-1.7%	-2.9%	-1.8%	0.7%	-5.4%
中心部北地区	実数	2,384	2,319	2,261	2,283	2,315	2,253	2,291	2,224	2,218	2,187	
	対前年増加率		-2.7%	-2.5%	1.0%	1.4%	-2.7%	1.7%	-2.9%	-0.3%	-1.4%	-8.3%
中心部東地区	実数	4,803	4,671	4,542	4,468	4,480	4,449	4,450	4,551	4,647	4,788	
	対前年増加率		-2.7%	-2.8%	-1.6%	0.3%	-0.7%	0.0%	2.3%	2.1%	3.0%	-0.3%
中心部東地区	実数	4,509	4,507	4,470	4,502	4,452	4,411	4,351	4,350	4,346	4,283	
	対前年増加率		0.0%	-0.8%	0.7%	-1.1%	-0.9%	-1.4%	0.0%	-0.1%	-1.4%	-5.0%
JR駅西地区	実数	1,074	1,070	1,069	1,069	1,089	1,075	1,111	1,102	1,027	983	
	対前年増加率		-0.4%	-0.1%	0.0%	1.9%	-1.3%	3.3%	-0.8%	-6.8%	-4.3%	-8.5%
JR駅東地区	実数	2,150	2,157	2,133	2,077	2,112	2,055	2,124	2,091	2,096	2,121	
	対前年増加率		0.3%	-1.1%	-2.6%	1.7%	-2.7%	3.4%	-1.6%	0.2%	1.2%	-1.3%
地区全体	実数	17,803	17,558	17,256	17,320	17,361	17,133	17,167	17,075	17,041	17,088	
	対前年増加率		-1.4%	-1.7%	0.4%	0.2%	-1.3%	0.2%	-0.5%	-0.2%	0.3%	-4.0%
本庁地区	実数	126,254	126,356	126,266	126,449	126,969	127,154	127,810	128,577	127,977	127,828	
	対前年増加率		0.1%	-0.1%	0.1%	0.4%	0.1%	0.5%	0.6%	-0.5%	-0.1%	1.2%
全市	実数	445,278	447,116	449,038	451,879	453,885	456,212	503,907	506,217	506,370	507,415	
	対前年増加率		0.4%	0.4%	0.6%	0.4%	0.5%	10.5%	0.5%	0.0%	0.2%	14.0%

資料) 住民基本台帳各年2月

過去10年の町丁目別人口増加率



②人口構成

■人口構成

- ・調査対象区域の年齢別の人口構成をみると、15才未満の年少人口は8.6%、65才以上の高齢人口は26.3%となっており、全市と比較すると、調査対象区域内は65才以上の比率が高く、15才未満の年少人口の比率が低くなっている。

■高齢化率

- ・65才以上の高齢者人口が占める高齢化率は、調査対象区域では26.3%となっており、市全体の16.9%と比べ大幅に高くなっている。
- ・中でも、一番町、東宿郷2丁目では50%を超え、40%を超す地区も、駅前通り1丁目、塙田1丁目で見られるなど、中心部で高齢化率が高い地区が見られる。

年齢3区分別人口構成

		地区			宇都宮市		
		男	女	合計	男	女	合計
0～14才	年少人口	9.0%	8.3%	8.6%	14.8%	14.1%	14.5%
15～64才	生産年齢人口	70.2%	60.1%	65.0%	70.8%	66.5%	68.6%
65才以上	老年人口	20.7%	31.6%	26.3%	14.4%	19.4%	16.9%
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資料) 平成17年国勢調査

町丁目別年少率、高齢化率

	年少率	高齢化率		年少率	高齢化率		年少率	高齢化率
旭1丁目	11.2%	21.4%	三番町	7.1%	28.8%	馬場通り1丁目	0.0%	30.4%
池上町	0.0%	25.0%	宿郷1丁目	10.5%	17.1%	馬場通り2丁目	0.0%	30.0%
泉町	6.1%	32.2%	宿郷2丁目	11.7%	9.0%	馬場通り3丁目	10.1%	24.8%
一番町	3.0%	68.4%	昭和3丁目	10.1%	19.6%	馬場通り4丁目	5.3%	47.4%
今泉1丁目	6.8%	34.7%	千波町	7.0%	29.9%	東宿郷1丁目	5.4%	17.7%
今泉2丁目	10.7%	20.7%	中央本町	10.2%	37.5%	東宿郷2丁目	2.3%	62.0%
駅前通り1丁目	6.1%	40.8%	中央1丁目	8.3%	27.2%	東戸祭1丁目	4.8%	33.3%
駅前通り2丁目	11.0%	16.8%	中央2丁目	5.9%	29.8%	二荒町	6.0%	31.3%
駅前通り3丁目	11.5%	16.6%	中央3丁目	8.1%	21.1%	本町	8.8%	37.8%
江野町	7.8%	31.8%	中央5丁目	8.2%	29.5%	本丸町	9.9%	22.2%
大曾1丁目	8.1%	28.5%	伝馬町	6.6%	20.5%	曲師町	5.1%	37.8%
大曾2丁目	11.3%	22.0%	仲町	5.2%	28.1%	松が峰1丁目	12.8%	15.6%
大通り1丁目	3.1%	37.5%	中河原町	11.7%	17.4%	松が峰2丁目	10.9%	23.1%
大通り2丁目	2.8%	22.8%	西1丁目	11.7%	21.9%	南大通り1丁目	4.5%	18.3%
大通り3丁目	8.3%	31.8%	西2丁目	11.8%	28.9%	南大通り4丁目	8.6%	21.7%
大通り4丁目	0.0%	25.6%	二番町	11.5%	26.9%	宮町	4.9%	33.8%
大通り5丁目	9.9%	31.5%	塙田1丁目	8.0%	40.0%	宮園町	5.1%	35.9%
小幡1丁目	6.7%	25.8%	塙田2丁目	7.6%	23.9%	元今泉1丁目	8.2%	24.1%
川向町	0.0%	0.0%	塙田3丁目	5.1%	42.3%	地区合計	8.6%	26.3%
清住2丁目	10.0%	27.5%	塙田4丁目	9.9%	30.6%	全市	14.5%	16.9%
栄町	13.1%	28.2%	塙田5丁目	11.7%	23.3%			

資料) 平成17年国勢調査

③人口密度

■夜間人口密度

- ・調査対象区域全体の夜間人口密度は、平成17年国勢調査によると、49.4人/haとなっている。
- ・最も高い夜間人口密度は、中河原町の187.4人/haである。
- ・100人/haを超える高密の地区は、地区外延部の集合住宅が立地する地区に見られる。

■昼間人口密度

- ・昼間人口密度は、調査対象区域で164人/haと、夜間人口密度の3倍以上高く、調査対象区域外から就業・就学活動の場が集積する調査対象区域に人口流入が多くなっていることが分かる。
- ・中でも、駅前通り1丁目や大通り1、2丁目などの商業業務施設が多くある地区で高くなっている。

町丁別昼夜間人口密度

町名	昼間人口密度	夜間人口密度	昼夜間人口比率	町名	昼間人口密度	夜間人口密度	昼夜間人口比率	町名	昼間人口密度	夜間人口密度	昼夜間人口比率
旭1丁目	326.9	48.9	668%	栄町	121.6	108.7	112%	馬場通り1丁目	381.1	5.2	7291%
池上町	401.9	16.9	2375%	三番町	101.8	120.0	85%	馬場通り2丁目	731.0	15.0	4873%
泉町	83.6	46.0	182%	宿郷1丁目	129.0	59.2	218%	馬場通り3丁目	334.1	49.5	674%
一番町	254.9	141.1	181%	宿郷2丁目	134.2	131.0	102%	馬場通り4丁目	164.2	31.7	518%
今泉1丁目	72.1	37.7	191%	昭和3丁目	41.1	71.1	58%	東宿郷1丁目	164.4	36.9	445%
今泉2丁目	91.1	99.6	91%	千波町	64.1	95.1	67%	東宿郷2丁目	231.6	51.0	454%
駅前通り1丁目	925.5	14.8	6233%	中央本町	261.5	38.8	674%	東戸祭1丁目	17.7	2.2	798%
駅前通り2丁目	119.5	102.3	117%	中央1丁目	124.3	40.2	309%	二荒町	246.1	43.7	563%
駅前通り3丁目	191.3	107.6	178%	中央2丁目	199.0	70.7	281%	本町	277.2	19.1	1451%
江野町	267.4	33.9	788%	中央3丁目	148.8	73.8	202%	本丸町	50.8	80.0	63%
大管1丁目	75.1	75.5	99%	中央5丁目	200.6	125.6	160%	曲師町	364.5	49.0	744%
大管2丁目	51.3	42.4	121%	伝馬町	232.7	79.6	292%	松が峰1丁目	222.5	45.4	490%
大通り1丁目	812.1	25.3	3215%	中河原町	154.2	187.4	82%	松が峰2丁目	45.3	55.5	82%
大通り2丁目	717.6	39.2	1831%	西1丁目	110.6	85.4	130%	南大通り1丁目	76.3	100.0	76%
大通り3丁目	177.9	68.6	259%	西2丁目	87.8	62.2	141%	南大通り4丁目	70.0	78.0	90%
大通り4丁目	424.8	29.7	1433%	塙田1丁目	323.4	2.3	14228%	宮町	50.8	54.6	93%
大通り5丁目	133.6	56.4	237%	塙田2丁目	135.9	111.5	122%	宮園町	288.0	9.5	3028%
小幡1丁目	107.7	71.2	151%	塙田3丁目	181.0	121.4	149%	元今泉1丁目	111.7	77.9	143%
川向町	92.0	0.5	17573%	塙田4丁目	119.4	86.4	138%	地区合計	164.0	49.4	300%
清住2丁目	48.8	77.3	63%	塙田5丁目	13.6	22.2	61%				

資料) 平成17年国勢調査

④世帯数の推移

■総世帯数

- ・調査対象区域の総世帯数は、平成23年2月現在、8,522世帯である。
- ・平成14～23年までの10年間で7.9%増加している。
- ・これは、本庁地区の9.6%、全市の21.9%と比較すると、低い水準で推移している。

■地区別世帯数

- ・地区別の世帯数の推移を見ると、中心部地区での増加率が10.8%と最も高くなっている。
- ・一方、中心部北地区では、10年間で2.2%の増加にとどまり、近年では減少傾向にある。

全市及び地区別世帯数の推移

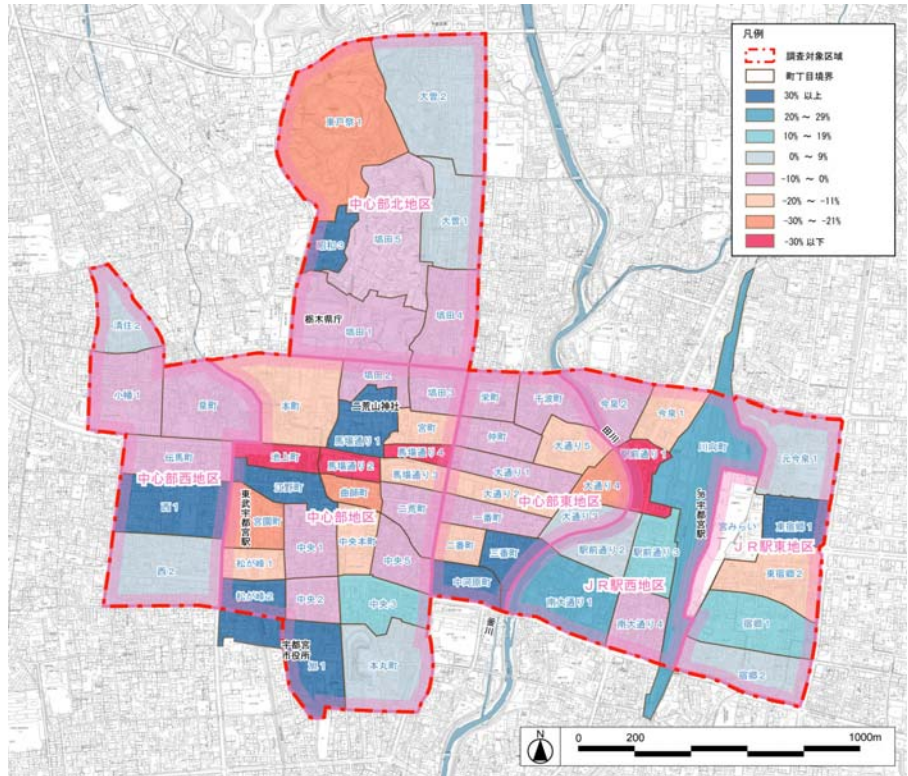
		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成14～23年の増加率
中心部西地区	実数	1,273	1,280	1,272	1,356	1,365	1,352	1,330	1,309	1,308	1,347	
	対前年増加率		0.5%	-0.6%	6.6%	0.7%	-1.0%	-1.6%	-1.6%	-0.1%	3.0%	5.8%
中心部北地区	実数	1,006	988	991	1,021	1,039	1,026	1,066	1,041	1,034	1,028	
	対前年増加率		-1.8%	0.3%	3.0%	1.8%	-1.3%	3.9%	-2.3%	-0.7%	-0.6%	2.2%
中心部地区	実数	2,126	2,099	2,053	2,037	2,070	2,098	2,147	2,194	2,264	2,356	
	対前年増加率		-1.3%	-2.2%	-0.8%	1.6%	1.4%	2.3%	2.2%	3.2%	4.1%	10.8%
中心部東地区	実数	2,057	2,090	2,093	2,153	2,152	2,166	2,158	2,209	2,231	2,215	
	対前年増加率		1.6%	0.1%	2.9%	0.0%	0.7%	-0.4%	2.4%	1.0%	-0.7%	7.7%
JR駅西地区	実数	485	487	491	509	524	520	524	522	524	506	
	対前年増加率		0.4%	0.8%	3.7%	2.9%	-0.8%	0.8%	-0.4%	0.4%	-3.4%	4.3%
JR駅東地区	実数	948	973	962	943	997	983	1,031	1,033	1,047	1,070	
	対前年増加率		2.6%	-1.1%	-2.0%	5.7%	-1.4%	4.9%	0.2%	1.4%	2.2%	12.9%
地区全体	実数	7,895	7,917	7,862	8,019	8,147	8,145	8,256	8,308	8,408	8,522	
	対前年増加率		0.3%	-0.7%	2.0%	1.6%	0.0%	1.4%	0.6%	1.2%	1.4%	7.9%
本庁地区	実数	53,824	54,326	54,827	55,441	56,284	56,960	57,886	58,699	58,637	58,976	
	対前年増加率		0.9%	0.9%	1.1%	1.5%	1.2%	1.6%	1.4%	-0.1%	0.6%	9.6%
全市	実数	172,653	175,012	177,532	180,487	183,394	186,359	204,476	207,258	208,494	210,545	
	対前年増加率		1.4%	1.4%	1.7%	1.6%	1.6%	9.7%	1.4%	0.6%	1.0%	21.9%

資料) 住民基本台帳各年2月

■町丁目別の世帯数増減

- ・世帯数の推移を町丁目別にみると、増加している町丁目は、調査対象区域の南側に多く、反対に、減少している町丁目は、中心部から北側に多く見られる。
- ・中でも、馬場通り2、4丁目、池上町は、10年間で30%以上世帯数が減少している。

過去 10 年の町丁目別世帯増加率



資料) 住民基本台帳各年 2 月

■1 世帯当たりの人員

- ・1 世帯当たり人員をみると年々減少しており、平成 23 年 2 月現在、調査対象区域では 2.01 人/世帯であり、市全体の 2.41 人/世帯と比べ世帯が小規模化している。
- ・とくに、中心部東地区、JR 駅西地区、JR 東地区では、2.0 以下となっている。
- ・これは、高齢化に伴う高齢者単身世帯の増加や核家族化の進展などが考えられ、今後ともこの傾向は続くことが予測される。

地区別 1 世帯当たり人口動向

単位:人

	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
中心部西地区	2.26	2.21	2.19	2.15	2.13	2.14	2.14	2.11	2.07	2.02
中心部北地区	2.37	2.35	2.28	2.24	2.23	2.20	2.15	2.14	2.15	2.13
中心部地区	2.26	2.23	2.21	2.19	2.16	2.12	2.07	2.07	2.05	2.03
中心部東地区	2.19	2.16	2.14	2.09	2.07	2.04	2.02	1.97	1.95	1.93
JR 駅西地区	2.21	2.20	2.18	2.10	2.08	2.07	2.12	2.11	1.96	1.94
JR 駅東地区	2.27	2.22	2.22	2.20	2.12	2.09	2.06	2.02	2.00	1.98
地区全体	2.25	2.22	2.19	2.16	2.13	2.10	2.08	2.06	2.03	2.01
市全体	2.58	2.55	2.53	2.50	2.47	2.45	2.46	2.44	2.43	2.41

資料) 住民基本台帳各年 2 月

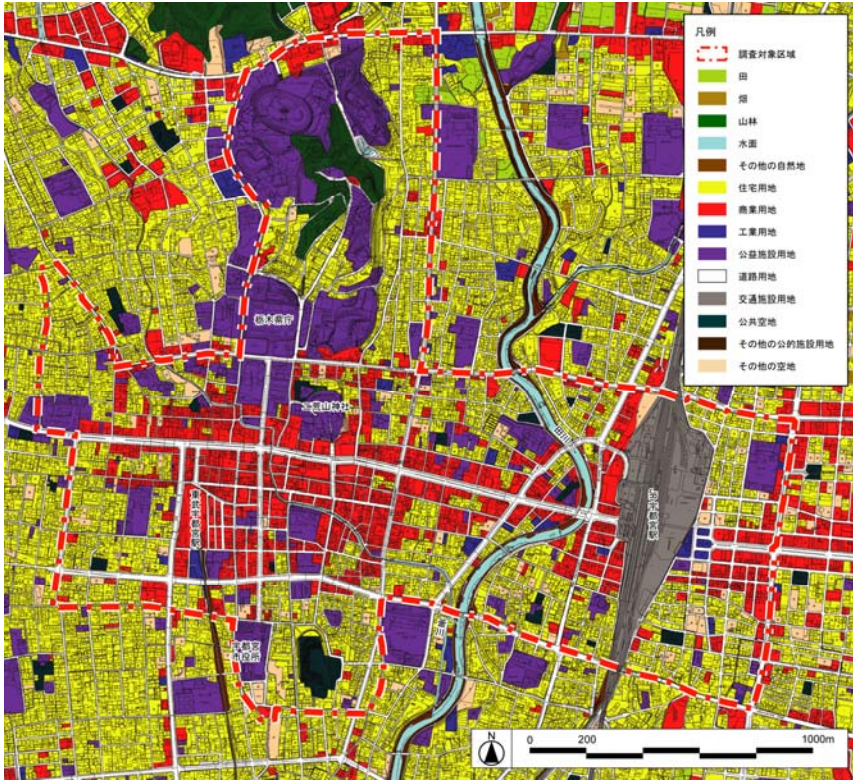
(2)土地利用

①土地利用

■土地利用

- ・本調査対象区域 320ha のうち、住宅用地は約 102ha (約 32%)、商業用地は約 63ha (約 20%)、公益施設用地は約 59ha (約 18%) を占めている。
- ・道路用地は、約 50ha、約 16%となっている。
- ・公共空地(公園・緑地、広場、運動場、墓園)率は、約 1.4%となっている。
- ・JR 宇都宮駅周辺や中心部地区及び大通り沿道は、商業用地として利用されているものの、それ以外のエリアは、主に住宅用地として利用されている。
- ・二荒山神社周辺及び八幡山公園周辺は自然が多く残っており、市民に親しまれる安らぎのあるみどり景観を提供している。

土地利用の現況



調査対象区域内の土地利用面積表

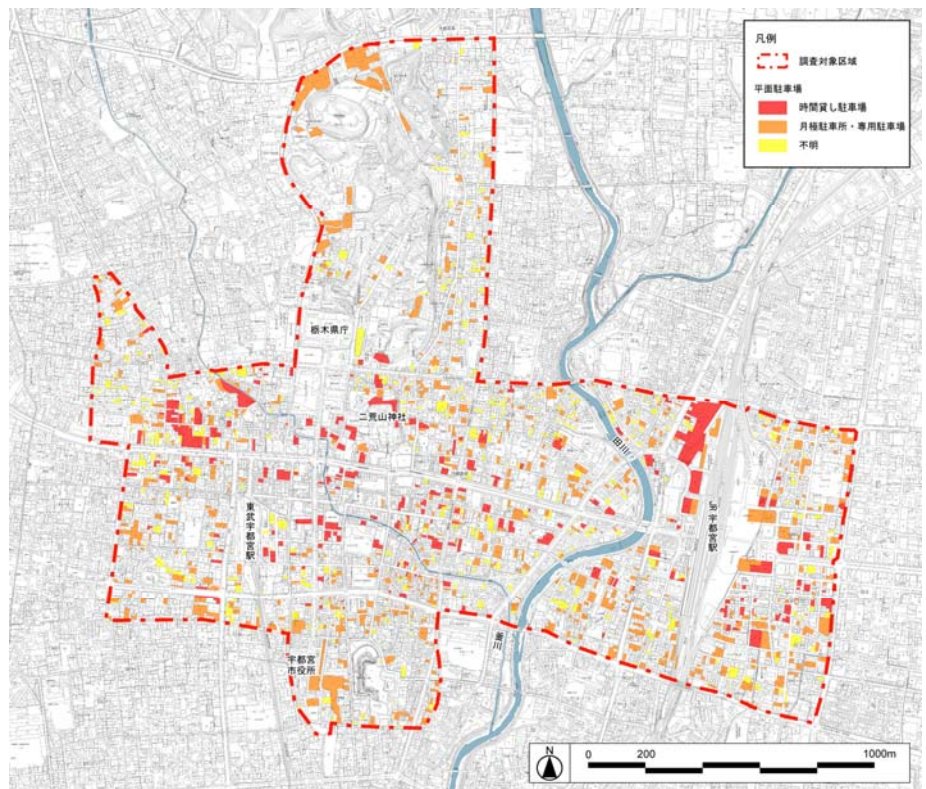
用途	摘要	面積 (ha)	比率 (%)
田	水田	0.5	0.2%
畑	畑、果樹園、養鶏(牛、豚)場、ビニルハウス	0.0	0.0%
山林	樹林地	7.0	2.2%
水面	河川水面、湖沼、ため池、用水路、壕、運河水面	4.0	1.3%
その他の自然地	原野・牧野、荒地、低湿地、河川敷・河原、海浜、湖岸	1.7	0.5%
住宅用地	住宅、共同住宅、店舗併用住宅、店舗併用共同住宅、作業所併用共同住宅	102.0	31.9%
商業用地	業務施設、商業施設、宿泊施設、娯楽施設、遊戯施設、商業系複合施設	63.0	19.7%
工業用地	運輸倉庫施設、重工業施設、軽工業施設、サービス工業施設、家内工業施設、危険物貯蔵・処理施設	2.9	0.9%
公益施設用地	官公庁施設、文教厚生施設、処理場、浄水場、火葬場、発電所、変電所	58.8	18.4%
道路用地	道路、駅前広場	49.6	15.5%
交通施設用地	自動車ターミナル、立体駐車場、鉄道用地、空港、港湾	18.2	5.7%
公共空地	公園・緑地、広場、運動場、墓園	4.6	1.4%
その他の公的施設用地	防衛施設用地	0.0	0.0%
その他の空地	改築工事中の土地、未利用地、平面駐車場、ゴルフ場	7.7	2.4%
合計		320.0	100.0%

資料)「平成 18 年度 都市計画基礎調査」GIS データを元に作成
 ※道路用地面積については、調査対象区域面積 320ha からの減算で算出

■低未利用地の分布

- ・全域に渡って、相当数の平面駐車場が分布しており、街並みの連続性を阻害している。
- ・中でも特に中心部地区の東側には小規模な平面駐車場が非常に密度高く立地している。
- ・JR宇都宮駅西口広場の北側や栃木県庁の西側には大規模な時間貸し駐車場が立地しており、土地の高度利用が進んでいない。

平面駐車場の分布

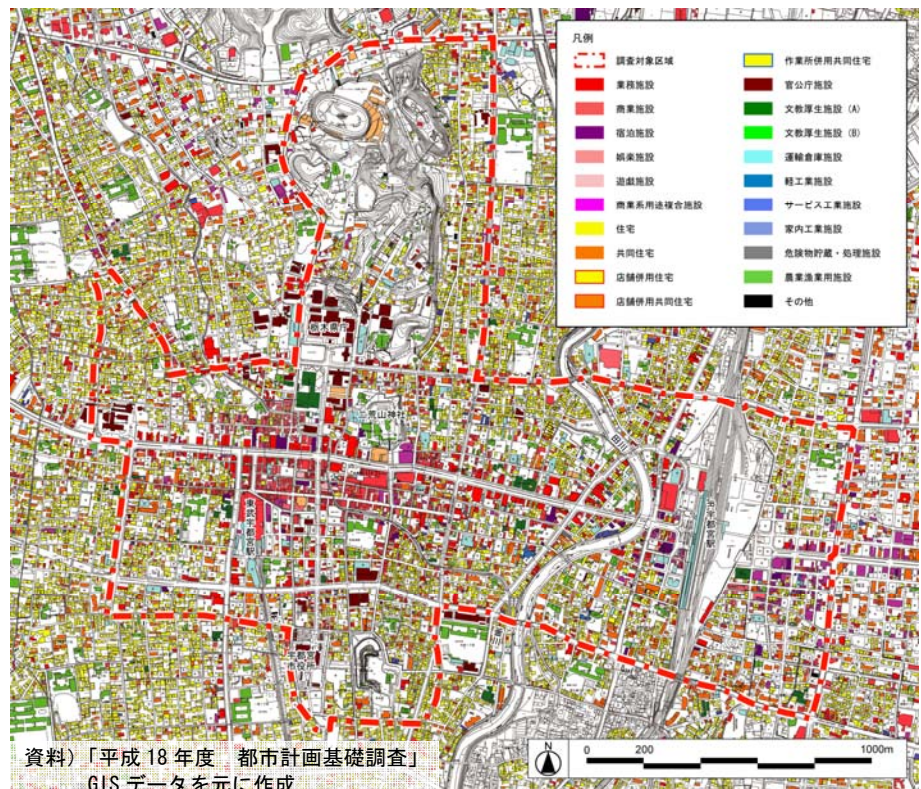


資料)「宇都宮市住宅地図 2010 年」より作成
 ※駐車場の種別は名称等から判断

②建物用途

- ・大通り，オリオン通り，ユニオン通り沿道を中心として，業務施設，商業施設，宿泊施設等の商業・業務系用途が集積している。
- ・中心部地区のシンボルロード周辺では，商業・業務系用途が住宅等のその他の用途と混在しながら分散立地している。特に東武宇都宮駅周辺の東側には比較的大きな空地が目立つ。
- ・これらの後背地には，戸建住宅が比較的小規模な共同住宅や数多くの駐車場等の空地と混在しながら立地している。
- ・JR 宇都宮駅西口広場の北側には，駐車場等に活用されている低未利用地がまとまって立地している。

建物用途の現況



③建物構造・階数

■構造・階数

- ・大通り沿道，JR 宇都宮駅周辺，東武宇都宮駅周辺には，堅ろう建物が集積し，耐火性，耐震性に優れた街並みを形成しているものの，一部に低層・普通建物も見受けられる。
- ・特に JR 宇都宮駅西口周辺の大通り沿道には，低層の小規模な建築物が田川を挟んで集積している。
- ・その他のエリアには，普通建物が数多く立地しており，市街地としての耐火性，耐震性が懸念される。
- ・特に，中央 5 丁目，小幡・清住地区は低層の耐火性の低い建築物が密集して立地しており，住環境の改善が望まれる。

※普通建物 : 3 階未満の建物及び 3 階以上の木造等で建築された建物

※堅ろう建物: 鉄筋コンクリート等で建築された地上 3 階以上又は 3 階相当以上の高さの建物

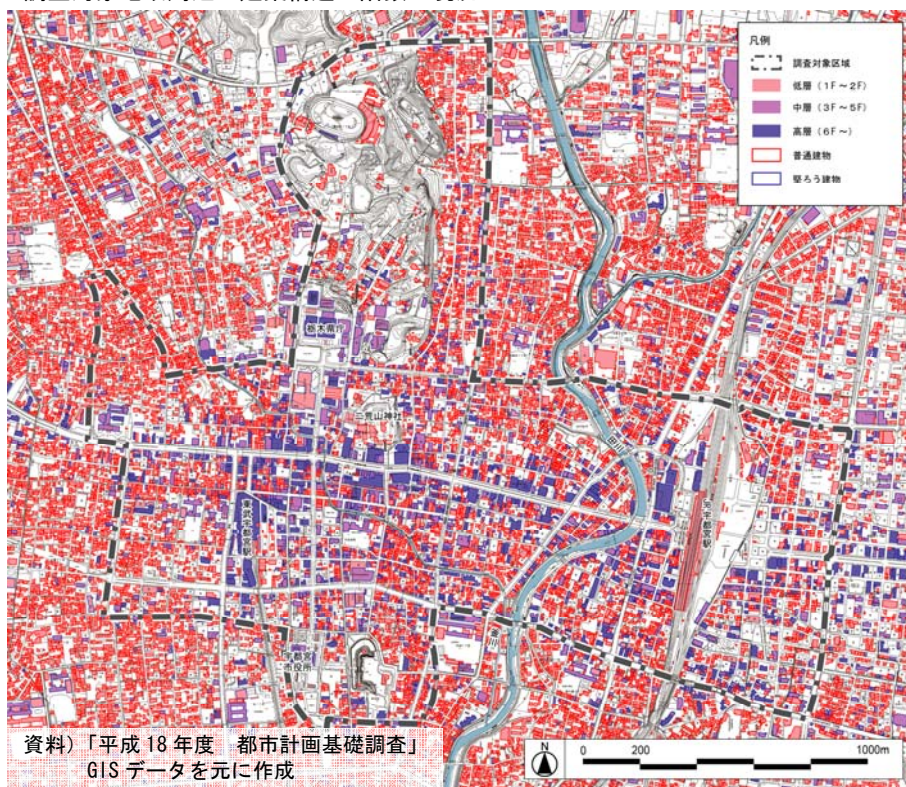
(「地図情報レベル 2500 データ作成の製品仕様書(案) 第 1 版」, 国土交通省国土地理院, 平成 17 年)

■老朽建築物

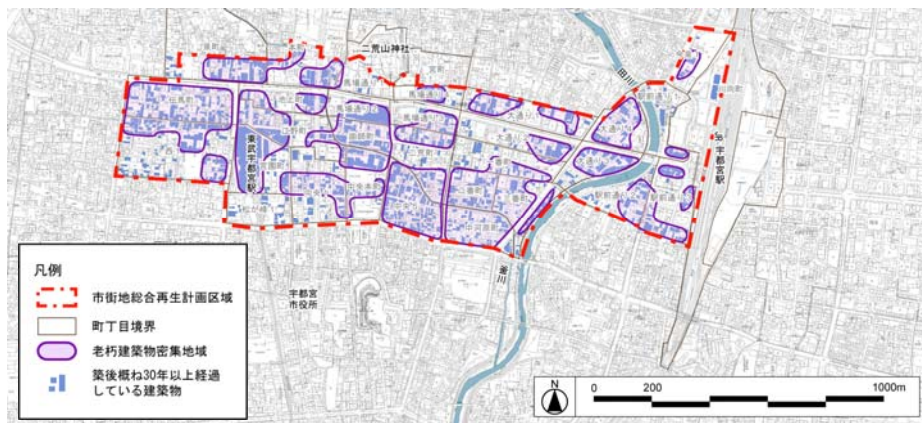
- ・中央5丁目，二番町，三番町，中河原町，伝馬町には，特に老朽化した小規模な建築物が密集して立地している。
- ・オリオン通り，ユニオン通り，日野町通りといった商店街の沿道も概ね築30年を経過している。
- ・大通りの沿道も，大規模な業務ビルが立地していない場所（大通り3，4丁目等）には，小規模な老朽化した建築物が密集して立地している。

※築後概ね30年以上経過している建築物を現地踏査にて調査し，老朽建築物が密集する地域を抽出した。定礎等に竣工年次が記載されている場合には，新耐震基準適合前の昭和56年以前の建築物を老朽建築物として対象とした。

調査対象地域周辺の建築構造・階数の現況



市街地総合再生計画区域内の老朽建築物分布状況



④都市計画

■用途地域

- ・概ね商業地域に指定されている。
- ・大通りから離れた一部のエリアは、近隣商業地域もしくは第1種住居地域又は第2種住居地域に指定されている。

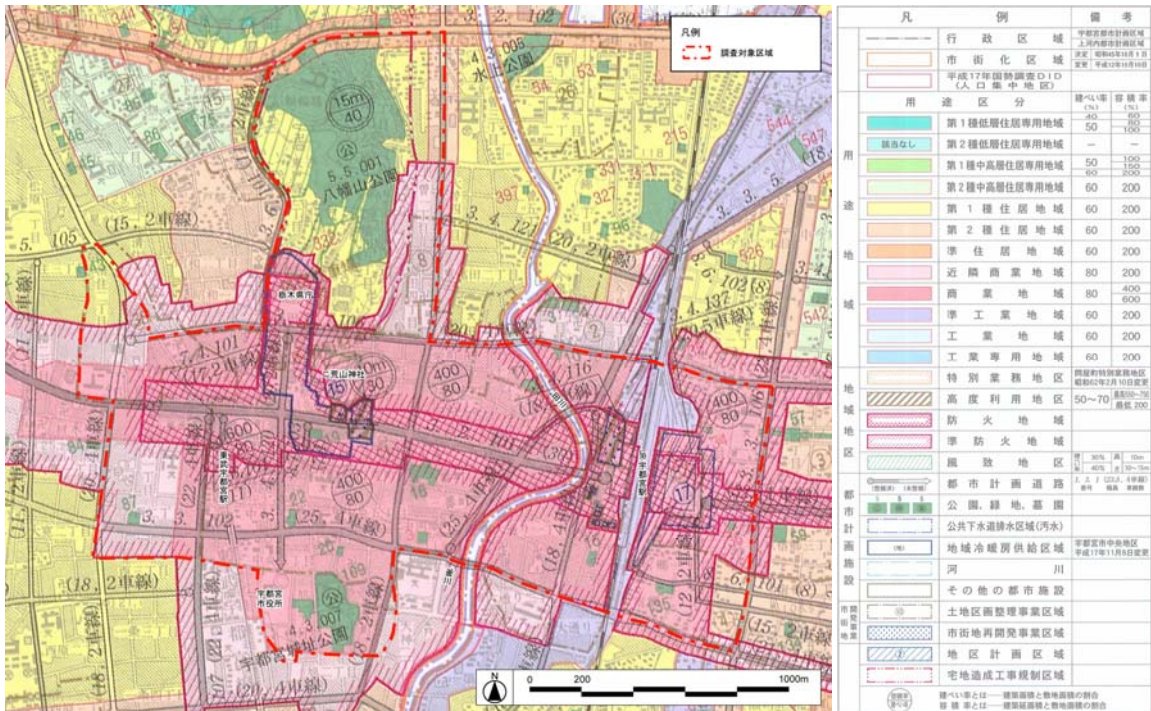
■容積率

- ・商業地域内 JR 宇都宮駅周辺、大通り沿道等は 600%の指定容積率となっており、その他の商業地域は 400%の指定容積率となっている。
- ・近隣商業地域、第1種住居地域、第2種住居地域は 200%の指定容積率となっている。

■その他

- ・八幡山公園及び二荒山神社に対し、風致地区が指定されており、それぞれ高さ制限 15m・建蔽率 40%と高さ制限 10m・建蔽率 30%の制限がかかっている。
- ・八幡山公園の周辺の一部を除いて、調査対象区域は防火地域又は準防火地域に指定されている。
- ・宇都宮駅東口地区 7.3ha には地区計画が定められており、用途制限、壁面位置の制限、形態意匠の制限等がかかっている。
- ・二荒山神社から栃木県庁までの範囲は、地域冷暖房供給区域に指定されている。

都市計画の状況



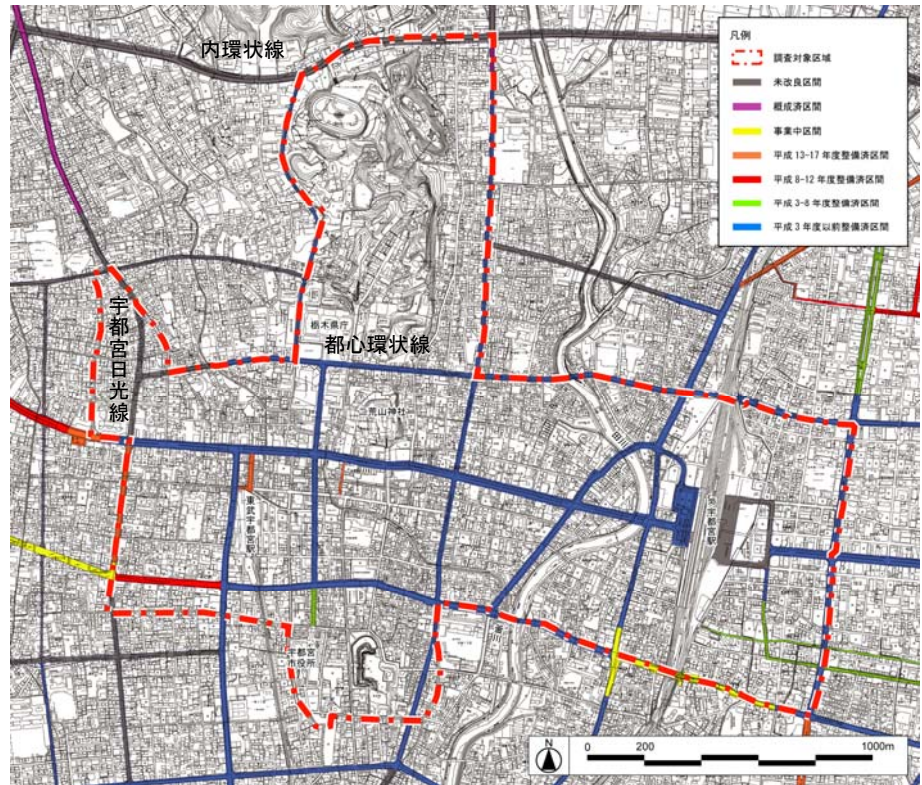
(3)交通

①都市計画道路等の整備状況

■都市計画道路

- ・中心部の都市計画道路は概ね整備済みとなっており、都心環状線も概ね完成しているが、その外側の内環状線である 3.2.102 桜通り平出線は、未改良である。
- ・小幡 1 丁目、清住 1 丁目を通る 3.4.102 宇都宮日光線及び 3.4.106 埴田平出線（都心環状線）は未整備であるが、小幡・清住土地区画整理事業の中で整備予定である。

都市計画道路の整備状況

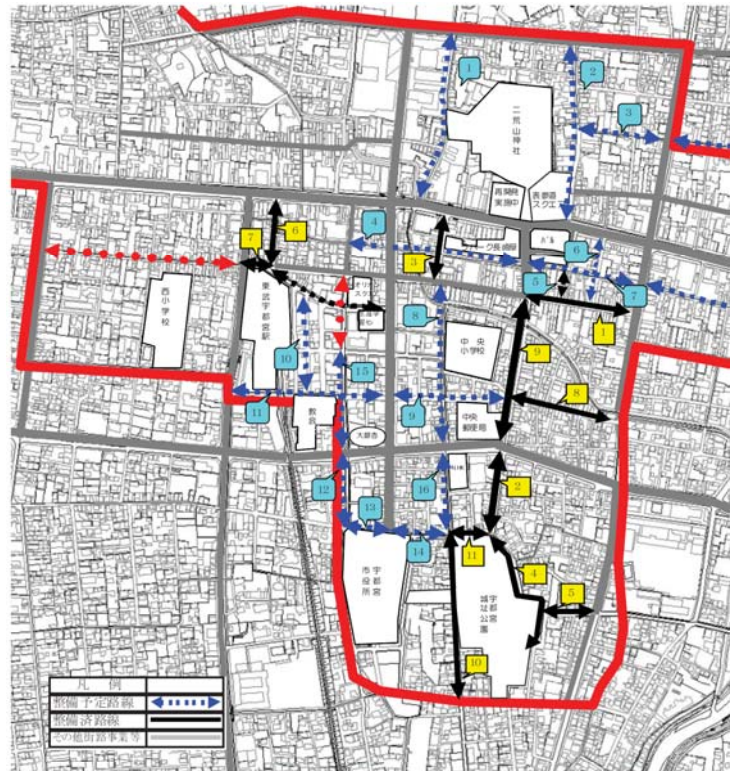


資料)「平成18年度 都市計画基礎調査」GISデータを元を作成

■中心市街地の道路

- 二荒山神社と宇都宮城址公園を結ぶ「歴史軸」や東武宇都宮駅、宇都宮市役所といった拠点施設間の中心部道路において、電線類の地中化等道路景観の整備及びバリアフリー化を進めている。
- 中心市街地の夕方下校ピーク時の歩行者と自転車の輻輳状況等を鑑みると、歩行者・自転車の歩行者系ネットワークの更なる充実が望まれる。

中心市街地（センターコア）の道路整備状況



整備済路線		
No.	市道番号 愛称名	延長 (m)
1	1136 日野町通り	260
2	8 本丸通り	130
3	1136 静岡町通り	120
4	8 3	970
5	8 3	90
6	3382 東武東上線通り	170
7	3 東武東上線通り	50
8	8 3 (イ)北通り	200
9	3 3 南橋通り	213
10	7 本丸西通り	300
11	8 1 市役所前通り	70

整備予定路線		
No.	市道番号 愛称名	延長 (m)
12	8 7 二荒山公園前通り	310
13	8 11 赤門通り	340
14	8 3 3	383
15	8 3 3	340
16	11 1	30
17	8 13	120
18	3 3 2	210
19	8 3 3	360
20	8 3 3	290
21	8 3 3	180
22	8 3 3	300

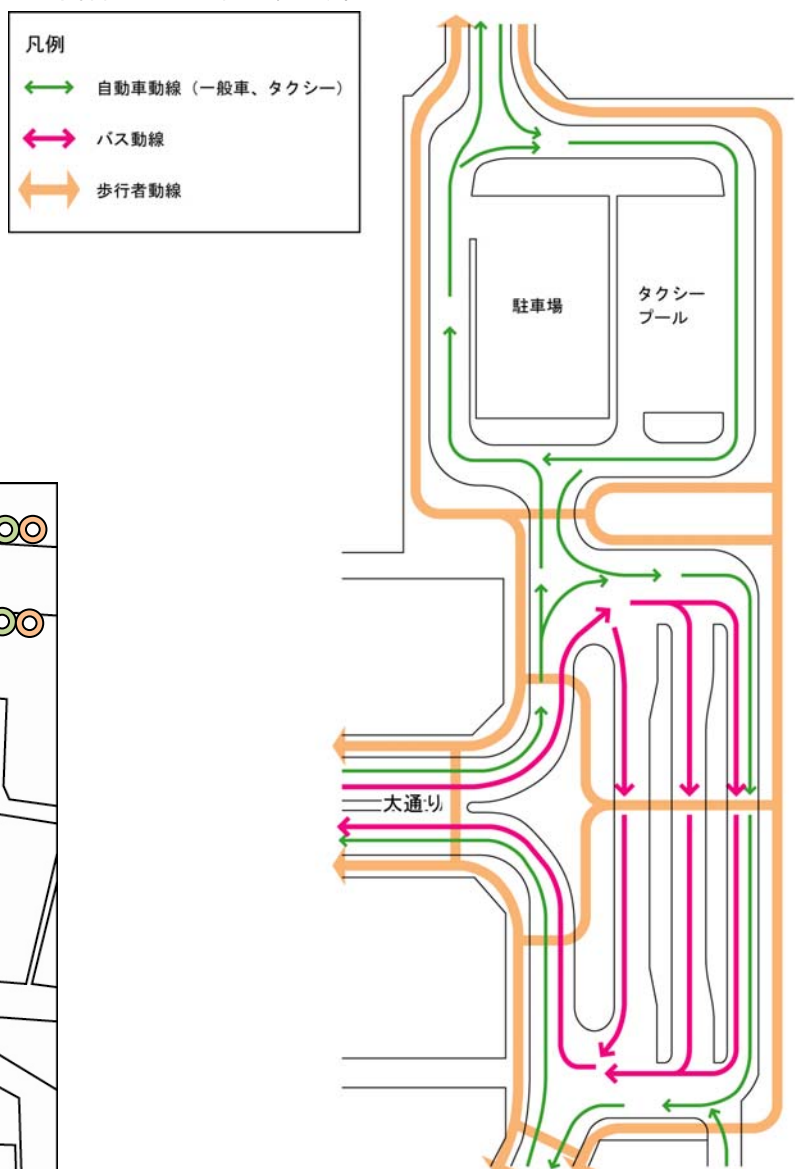
整備予定路線		
No.	市道番号 愛称名	延長 (m)
23	8 3 市役所前通り	120
24	8 3 市役所前通り	120
25	8 3 市役所前通り	180
26	8 3 本丸西通り	150

資料)「宇都宮市中心市街地活性化基本計画」, 宇都宮市, 平成22年3月

■交通広場

- JR 宇都宮駅西口駅前広場は整備済みであるが、近年ではバスと自家用車等の車両の輻輳とともに、歩行者と車両の輻輳が見られるなど、交通安全上問題がある。
- 平成 20 年には、JR 宇都宮駅東口駅前広場が供用開始されている。
- 東武宇都宮駅前には交通広場はなく、東京街道沿いに 4 つのバスバースがまとまって存在している。しかし、バス会社ごとに分散配置しており、交通結節点としての機能は不十分である。

J R 宇都宮駅西口駅前広場の動線の状況



東武宇都宮駅周辺のバス停分布

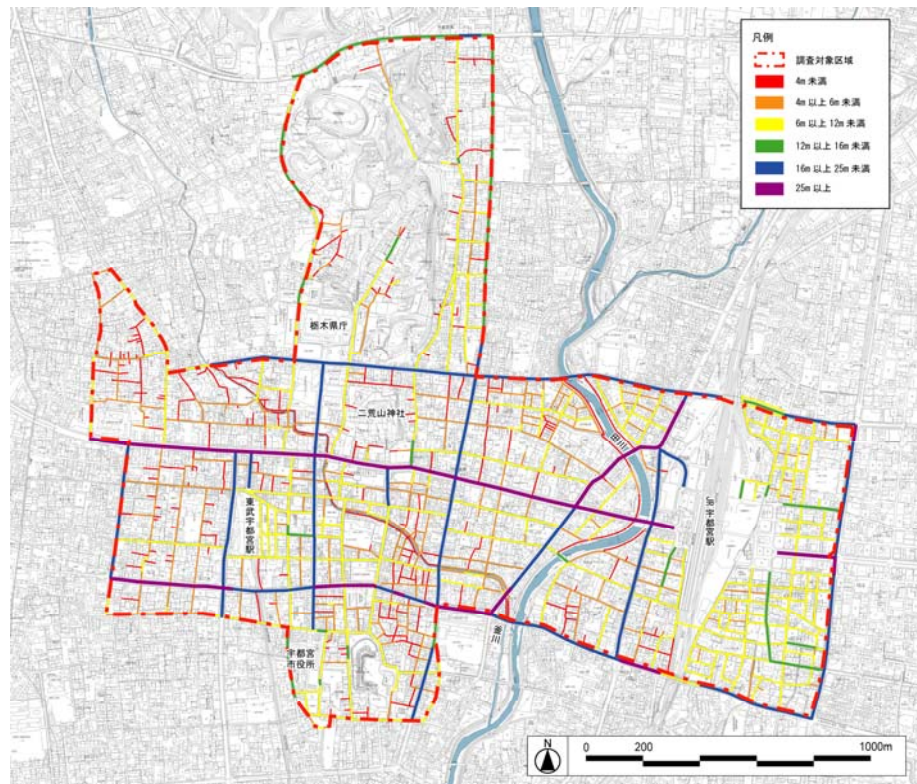


資料) 宇都宮市ホームページ
「宇都宮市内路線バスマップ」、
平成 22 年 10 月現在

②道路幅員

- 中心部を中心に道路幅員4m未満の狭隘道路が多くみられる。
- 特に二荒町，中央3・5丁目は道路基盤が全体的に弱く，敷地形状も不整形で狭隘道路が多くみられる。
- 伝馬町，西1・2丁目は南北方向の道路はあるものの，東西方向の道路は，行き止まり道路が数多くみられ，道路ネットワークが不足傾向にある。
- なお，土地区画整理事業予定地内の清住2丁目，小幡1丁目は狭隘道路や敷地形状が不整形なところも見受けられ，行き止まり道路も数多くみられるなど，一部に接道不良の宅地，建物が見られ，単独での建物更新が困難な状況となっている。
- JR 宇都宮駅東口周辺は，土地区画整理事業が完了しており，幅員4m未満の道路は存在しておらず，道路基盤は整っている。

道路幅員現況



資料)「道路台帳」を基に作成

③自動車交通量

■自動車交通への依存

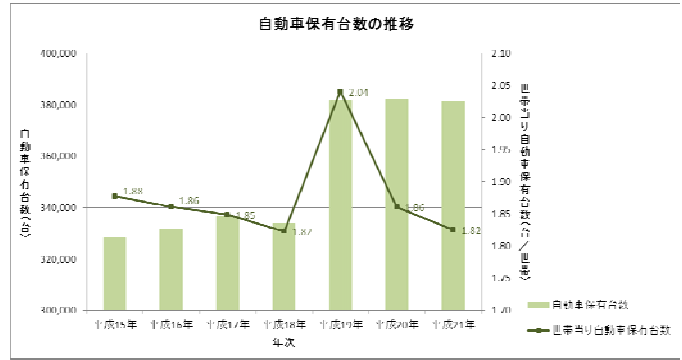
- 一世帯当たりの自動車保有台数（貨物車，原動機付自転車等を含む）は，ここ 3 年は横ばいであるが，世帯当たりの自動車保有台数は約 1.8 台と依然として非常に高い。

■交通量

- 平成 17 年度の道路交通センサスでは，周辺 8 ヶ所において，交通量調査が実施されている。
- 元今泉 4 丁目及び駅前通り 3 丁目を除く調査地点では，概ね平成 11 年度の調査に比べて 10%程度の交通量の減少が認められる。（駅前通り 3 丁目では平日約 50%の減少が記録されているが，平成 17 年度休日 12 時間交通量の値は平成 11 年度の平日の値に近いことから，平成 17 年度の平日の調査日が特異日であった可能性が高い。）

■混雑度

- いずれの調査地点においても，混雑度は 1.75 を超えておらず，慢性的な混雑状態は生じていないものと考えられる。
- 但し，千波町や一条 3 丁目では，混雑度が 1.5 近く，ピーク時間はもとより，ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速的に増加する可能性の高い状態にあると考えられる。



資料) 自動車：関東運輸局栃木運輸支局「業務要覧」
軽自動車：「税務概要」
世帯数：宇都宮市統計データバンク

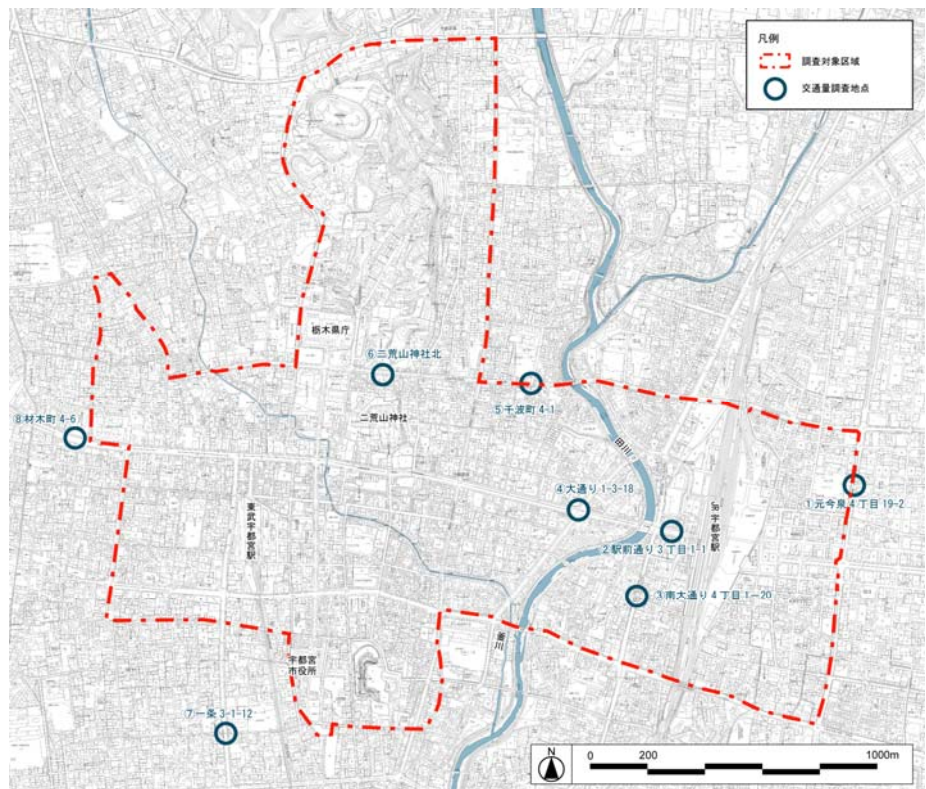
※平成 18 年まで旧上河内町含む
※平成 19 年は旧上河内町，旧河内町分を含む
※平成 19 年以降の普通貨物車の台数は普通貨物車と被けん引車の台数の合計
※世帯当り自動車保有台数=(自動車保有台数+軽自動車等の保有台数)/世帯数
(二輪，三輪は除く)

※混雑度とは，道路の込み具合を示す指標であり，交通量を道路設計上の基準交通量で除した値。
(混雑度) = (交通量) / (設計上の基準交通量)

混雑度	交通状況の推定
1.0 未満	昼間12 時間を通して，道路が混雑することなく，円滑に走行できる。
1.0 ~ 1.25	昼間12 時間のうち，道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間（ピーク時間）ある。何時間も混雑が連続する可能性は小さい。
1.25 ~ 1.75	ピーク時間帯はもとより，ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速的に増加する可能性が高い状態。
1.75 以上	慢性的な混雑状況を呈する。

資料)「道路の交通容量」,
日本道路協会

平成 17 年度道路交通センサスにおける交通量調査地点



①
路線名:宇都宮向田線
調査地点:宇都宮市元今泉4丁目19-2

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	15,448	17,465	0.99	13.1%
休日	—	13,873	—	—

②
路線名:宇都宮停車場線
調査地点:宇都宮市駅前通り3丁目1-1

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	18,874	9,541	0.7	-49.4%
休日	—	16,357	—	—

⑤
路線名:宇都宮向田線
調査地点:宇都宮市千波町4-1

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	16,707	15,066	1.49	-9.8%
休日	—	13,542	—	—

⑥
路線名:宇都宮向田線
調査地点:二荒山神社北

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	—	2,181	0.29	—
休日	—	1,542	—	—

③
路線名:宇都宮笠間線
調査地点:宇都宮市南大通り4丁目1-20

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	14,479	13,882	0.82	-4.1%
休日	—	12,468	—	—

④
路線名:宇都宮烏山線
調査地点:宇都宮市大通り1-3-18

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	18,874	18,706	0.96	-0.9%
休日	—	16,357	—	—

⑦
路線名:一般国道119号
調査地点:宇都宮市一条3-1-12

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	20,243	17,766	1.46	-12.2%
休日	—	15,409	—	—

⑧
路線名:一般国道119号
調査地点:宇都宮市材木町4-6

	平成11年度	平成17年度		増加率 (%)
	12時間 交通量(台)	12時間 交通量(台)	混雑度	
平日	23,855	21,777	1.19	-8.7%
休日	—	19,777	—	—

資料)「平成17年度 道路交通センサス(全国道路情勢調査)」, 栃木県土木部道路建設課

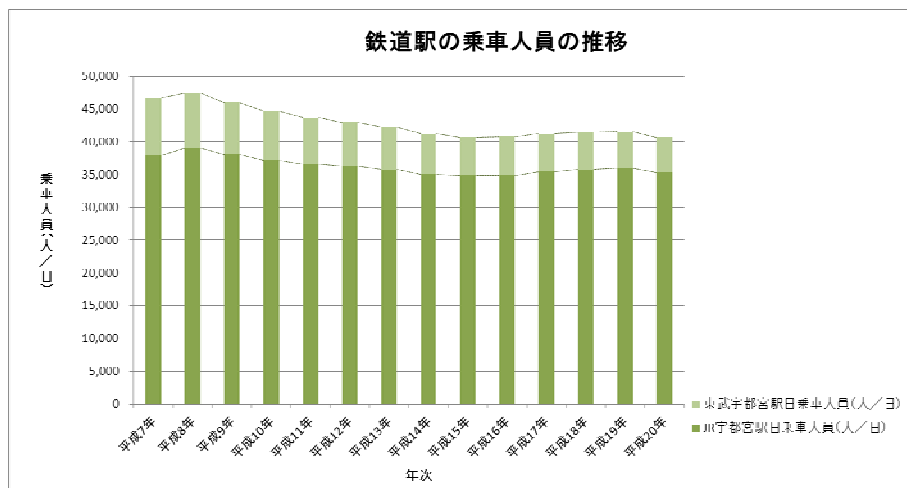
④ 鉄道

■ 路線

- ・ JR 宇都宮駅と東武宇都宮駅の 2 駅が位置している。
- ・ JR 宇都宮駅には、東北・山形新幹線、日光線、東北本線、烏山線が乗り入れている。
- ・ 東武宇都宮駅は、東武宇都宮線の発着駅である。

■ 乗車人員

- ・ 平成 20 年の JR 宇都宮駅乗車人員は約 3.5 万人/日(乗降約 7 万人/日)である。
- ・ 平成 20 年の東武宇都宮駅乗車人員は約 0.5 万人/日(乗降約 1 万人/日)である。
- ・ JR 宇都宮駅、東武宇都宮駅における乗車人員はともに減少傾向にあり、JR 宇都宮駅では平成 11~20 年の 10 年間で 3.3%の減少、東武宇都宮駅では 22.9%の減少と、東武が大幅に減少している。



資料)「平成 21 年度版 宇都宮市の交通」, 宇都宮市